

# 地学専攻の就職進学状況

## 博士課程前期2年（修士卒）

年によって変わりますが、およそ7割が就職し、3割が博士課程後期に進学します。就職先は、資源・材料関連や金属・セメント関連の企業をはじめ、環境・電気・コンサルタント・製造・交通・IT関連、金融など多岐にわたっています。官庁や地方公共団体の国家公務員・地方公務員・教員になる人もいます。進学先は東北大学が最も多く、東京大学や京都大学などがあります。

## 博士課程後期3年（博士卒）

およそ1～4割は大学（旧帝大や海外の大学など）や附属研究所、官庁・独立行政法人（防災研、産総研、日本原子力研究、気象庁など）などの研究員・研究生として研究を続けています。5割程度は地質建設コンサルタントや企業研究所、資源関連会社、IT関連会社の技術職などへ就職します。なかには中高教員になる人もいます。

地学専攻のウェブサイト

> 卒業後の進路

<http://www.es.tohoku.ac.jp/JP/future/index.html>

を参照してください。これまでの進路状況が確認できます。

# 地学専攻の就職進学状況（最近2年間）

		2020年度		2021年度	
前期課程 (修士)	卒業者	37人	【進学先】 東北大学, 東京大学 【就職先】 学術研究 (国際航業、 明治コンサルなど)、製造業 (三菱マテリアル、NECなど)、 電気ガス (北海道電力、中部電 力など)、鉱業 (太平洋セメン トなど)、公務員、サービス業、 情報通信業、運輸業など	37人	【進学先】 東北大学 【就職先】 学術研究 (三菱総研、 JOGMEC、パシフィックコンサル 、NEDOなど)、建設・製造 業 (日本工営など)、電気ガス (東芝, 東京電力など)、鉱業 (太平洋セメントなど)、情報 通信業 (NTTデータ、日本総研、 NECなど)、公務員、サービス 業、運輸業、金融業など
	修了者	37人		37人	
	博士進学者	11人 (30%)		6人 (16%)	
	就職者	23人 (62%)		30人 (81%)	
	その他	3人 (8%)		1人 (3%)	
後期課程 (博士)	卒業者	10人	【就職先】 大学教員・学術研 究・研究員 (東北大学、Dar es Salaam大学、南洋理工大学、 パトウアカリ科学技術大学、海洋研 究開発機構など)、製造業 (住 友金属鉱山) など	11人	【就職先】 大学教員・学術研 究・研究員 (東北大学、東京大 学、東京農工大学、材料科学技 術財団など) など
	修了者	9人		6人	
	就職者	6人		7人	
	その他	3人		4人	